

【勤労感謝の日】 働くシニア540名の仕事やお金に関するリアルな意識を調査 働くシニアの約7割は80歳以上になっても働けると実感 “定年なく働く社会”が新しいあたりまえに

シニア人材を活用したマンション管理員の代行業を展開する株式会社うえるねす(本社:東京都新宿区代表取締役会長兼社長:下田雅美)では、平均年齢70歳・全国約3240名のパートナーが代務員※1として活躍しています。日本では働くシニアが914万人※2となる中、当社で働く65歳以上のシニアを対象にアンケートを行い、リアルな高齢就業者の仕事やお金に関する実態を調査しました。

※1 当社代務員とは、管理会社の常勤管理員の休暇・退職などに伴い単発・長期で当該マンションの管理員として委託される代行管理員です。

※2 令和6年9月15日発表 総務省「統計からみた我が国の高齢者 -「敬老の日」にちなんで
<https://www.stat.go.jp/data/topics/pdf/topics142.pdf>

【調査トピック】

- ① (定年後・高齢者となり)うえるねすで働き始めた理由のトップ、
男性は「健康のため」、女性は「生活・医療費のため」
- ② 仕事を始めると「まだまだ働ける」と感じるシニアが多い
うえるねすで仕事を始める前、この「年齢までは働ける」と思う年齢は、
男性は80～84歳 女性75～79歳まで。
実際に仕事を始めると、女性は80～84歳まで働ける がトップに変化！
また、男性は85歳～90歳、90歳以上まで働ける と答えた人が約2倍に！
- ③ 働きだしてから妻・夫との関係が良くなった男女は全体の約3割
自宅にこもらず適度な距離が生まれたことが良好のヒントに！？
- ④ 仕事で得た収入の使い道は男女ともに趣味・娯楽費がトップ
月に男性は10万円、女性は5万円を仕事で稼ぎたい。
- ⑤ (シニアでも雇用されるのであれば)やってみたい仕事、
男女ともに前職の経験や保有資格を活かせる仕事をはじめ、
男性は接客業や介護・福祉、女性は接客業、保育・教育に関心。
共通のキーワードは「経験を活かす」「人との関わりたい」「喜んでほしい」
- ⑥ もし仕事をやってなければ…「不健康」「ボケる」「だらだらTVじいさん」「孤独」
心と体の健康に影響があった可能性も。
働くシニアにとって仕事とは、社会貢献、生きがい、健康寿命につながるもの。

<報道関係者様のお問い合わせ先>

株式会社うえるねす 広報室 下田・杉田 TEL:03-5990-5059

MAIL:mineko.shimoda@wellness-support.co.jp

【統計からみた日本の高齢者および高齢就業者のすがた】

2024年9月、総務省の発表※2によると、65歳以上の高齢者は推計で3625万人、また、働く高齢者は914万人でいずれも過去最多を記録。高齢者就業率は、主要国の中でも高い水準となっています。また、65歳以上の就業者を主な産業別にみると、「卸売業、小売業」が132万人と最も多く、次いで「医療、福祉」が107万人、「サービス業(他に分類されないもの)」が104万人、「農業、林業」が99万人などとなっています。労働市場の人手不足などにより、今後も働く高齢者が増える傾向は続くとされています。

※2 令和6年9月15日発表 総務省「統計からみた我が国の高齢者 -「敬老の日」にちなんで
<https://www.stat.go.jp/data/topics/pdf/topics142.pdf>

【調査に関する考察 および日本におけるシニア雇用の課題について (回答者:(株)うえるねす 代表取締役 会長 下田)】

今回の調査を通じて、シニアにとって、働くことは健康・精神面でプラスに貢献しているということがわかりました。働くシニアは増える一方、日本全体をみるとまだまだシニアの雇用には壁があります。(採用される職種や人数に限りがある、シニア向けの能力開発不足、シニア労災など) **シニア世代を単なる労働力として見るのではなく、個人の体調やスケジュールにあわせた柔軟な働き方の提案**や、未経験な分野にも挑戦できる**能力開発がシニア人材の活躍につながり**、結果として健康寿命に貢献すると考えられます。



(株)うえるねす 代表取締役 会長 下田雅美 (81歳)

1942年大分県生まれ 1965年(株)リクルートに入社し、定年まで勤め上げた後、“高齢者が尊敬される社会づくり”を目指し2002年に(株)うえるねす さぼーと(現(株)うえるねす)を立ち上げる。現在81歳で現役でうえるねすの事業拡大に取り組む。



【実際に働くシニアの声】うえるねす最高齢代務員・前田さん(91歳)

2019年10月(当時85歳)からうえるねすの仕事をはじめました。以前の仕事を辞めてから何もせずにいると、生活の張りがなくなり、健康に良くないと感じていた時、たまたまうえるねすのスタッフ募集チラシを見たことがきっかけです。今は自分のペースに合わせて、週に1-2回・午前中に勤務しています。私は「100歳現役」という大きな夢を抱いています。仕事を再開すると、年齢に関わらず成長できると感じたためです。今年はマンション管理員の国家資格「業務管理主任者」の取得に挑戦することを決意。12月の受験に向け、主にスマートフォンで勉強しています。

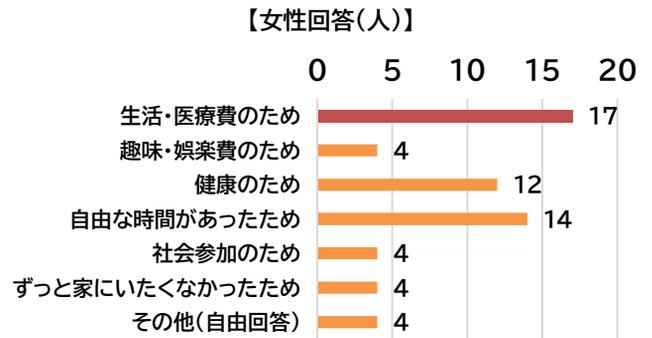
【アンケート概要】

調査日 : 2024年8月末
回答者 : うえるねすに登録し、代務員として働くシニアの方々
回答者年齢 : 65歳~91歳
回答者数 : 540名
- 男性481名 (65~69歳 74名/70~74歳 188名/75~79歳 172名/80~84歳 46名/91歳 1名)
- 女性59名 (65~69歳 14名/70~74歳 30名/75~79歳 11名/80~84歳 4名)
回答者居住地 : 北海道・関東・中部・関西・四国・中国・九州 エリア
アンケート手法 : うえるねすの業務内で使用する、スマートフォンアプリにてアンケートを配信

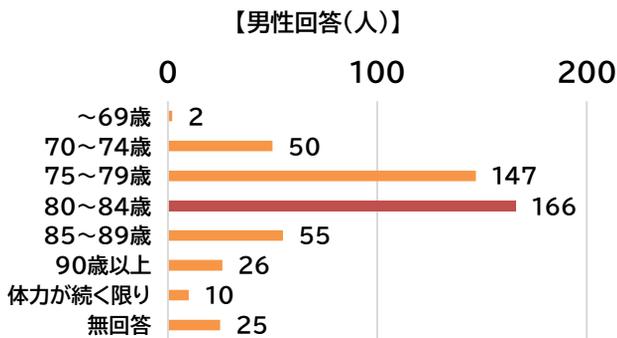
※本資料で紹介しているデータは一部抜粋版です。調査詳細をお求めの方はご連絡ください。

【調査トピックに基づくデータ】

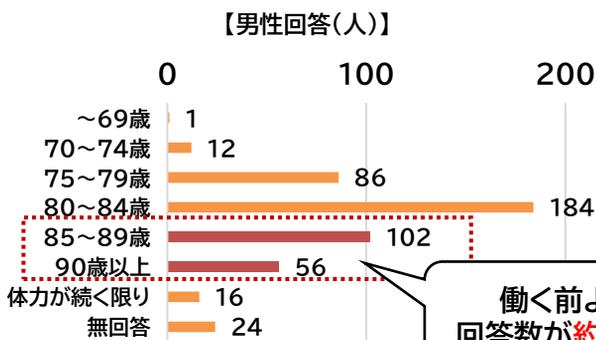
① (定年後・高齢者となり)うえるねすで働き始めた理由



②-1 うえるねすで仕事を始めた時、何歳まで働く予定でしたか？(何歳まで働けると思っていたか？)



②-2 これから先は何歳まで働こうと思いますか？(何歳まで働けると思うか？)



③ (配偶者がいる方のみ回答)働き始めてから家族関係はどのように変わりましたか？

男性: 良くなった26% 変わらない71% 悪くなった1%以下 その他2%
 女性: 良くなった30% 変わらない64% 悪くなった3% その他3%

④ -1 仕事で得た収入のメインの使い道は何ですか？

男性: 1位 趣味・娯楽費 (60%) 2位 生活費(28%) 3位 貯金(5%) ※その他7%
 女性: 1位 趣味・娯楽費 (49%) 2位 生活費(32%) 3位 貯金(9%) ※その他10%

